

経済指標ウォッチャー

米国雇用統計 非農業部門雇用者数は市場予想を下回る

次回11月のFOMCでテーパリング開始が決定される可能性が高い

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

非農業部門雇用者数は市場予想を大幅に下回る

10月8日に米国労働省が公表した9月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比19.4万人増と市場予想の同50.0万人増を大幅に下回る結果となりました。失業率は4.8%(前月:5.2%)と0.4ポイント改善しました(図表1)。失業率が低下する一方で非農業部門雇用者数の増加が伸び悩んでいることは、職探しを断念する雇用者が増加している可能性も考えられます。

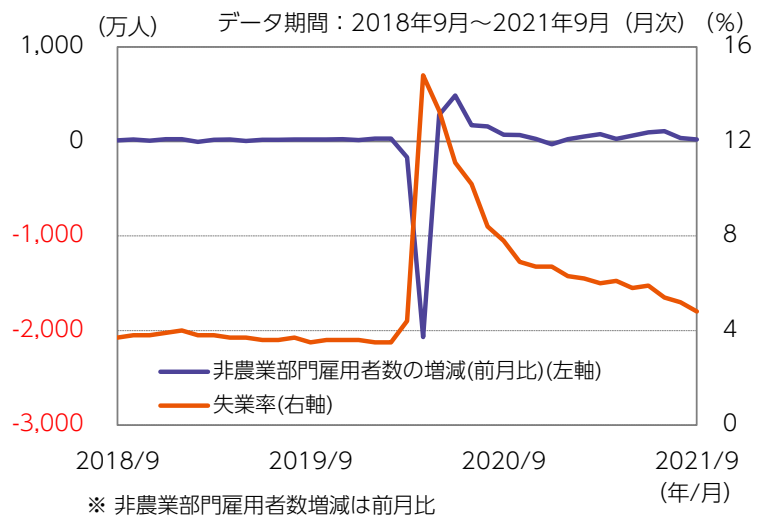
感染力の強いデルタ株まん延の影響があったとみられるものの娯楽・宿泊業が同7.4万人増となるなど民間部門が同31.7万人増であったのに対し、学校再開の遅れの影響などから教育関連分野が大きく減少したことが影響し、政府部門が同12.3万人減となりました。

今回の結果がFRBの判断に影響するかに注目

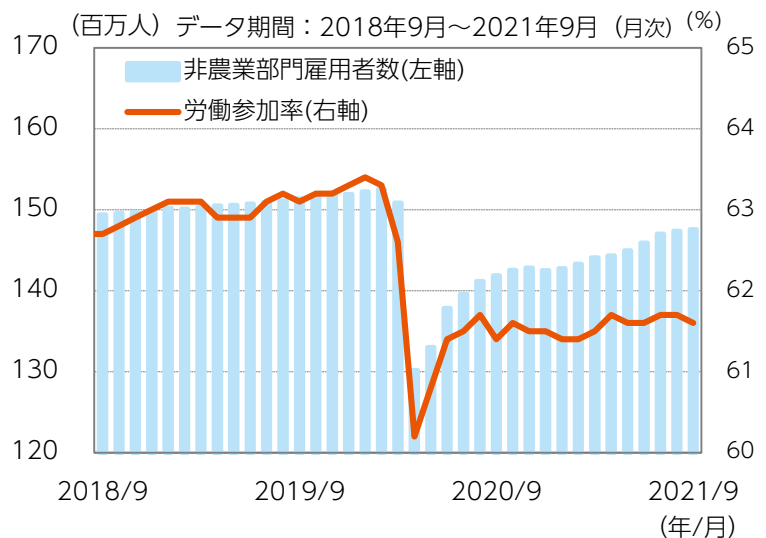
非農業部門雇用者数は“コロナ前”(2020年2月)と比較して約497万人少ない水準(2020年2月比で96.7%)まで回復してきました(図表2)。一方で、16歳以上の人口に占める労働力人口を示す労働参加率は61.6%と“コロナ前”と比べると1%以上低い水準にあり、足元では横ばい圏での推移となっています。

パウエルFRB(米連邦準備制度理事会)議長は、9月のFOMC(米連邦公開市場委員会)後の記者会見において、テーパリング(量的緩和縮小)の条件として「9月の雇用統計が強い結果となることは必要ない。継続的に雇用が改善していることが確認できればよい。」と発言しました。今回の雇用統計の結果はテーパリングに関するFRBの判断基準を満たしているとの見方が優勢になっています。次回11月のFOMCで市場の予想通り、テーパリング開始が決定される可能性は高いものと思われます。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：非農業部門雇用者数と労働参加率



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>